

科目	応用建築設計製図I (Advanced Architectural Design and Drawing I)		
担当教員	田島 喜美恵 准教授		
対象学年等	都市工学専攻・1年・前期・選択・2単位		
学習・教育目標	A4-AS1(100%)	JABEE基準	(d),(g)
授業の概要と方針	この科目は設計に最低限必要な製図法の基礎を修得するための演習である。製図法の基礎的な考え方やルール、記号や専門用語といった知識に加え、建築の計画手法製図に必要な実技の習得を行う。具体的には、住宅の設計を行ってもらい、特定の敷地を題材として、敷地の周辺環境を読み解く技術、さまざまな要求を整理統合する技術、人の生活をイメージしながら空間を構想する方法を学ぶ。なお、この教科はAS1建築計画も併せて履修しておくことが必須である。		
	到達目標	達成度	到達目標別の評価方法と基準
1	【A4-AS1】戸建て住宅を設計することができる。		レポートおよび提出図面にて評価する。
2	【A4-AS1】住宅模型を制作することができる。		提出図面における模型写真にて評価する。
3	【A4-AS1】作成したものを第三者にわかりやすく伝えること(プレゼンテーション)ができる。		提出図面のレイアウトおよびプレゼンテーションにて評価する。
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は、レポート10% プレゼンテーション10% 戸建て住宅図面(平面・立面・断面)60% 模型写真および図面の加工・レイアウト20% として評価する。100点満点中60点以上を合格とする。なお、ひとつでも未提出課題(図面,模型写真,レポート,プレゼンテーション)がある場合は不合格とする。		
テキスト	適宜プリントを配布		
参考書	「やさしく学ぶ設計製図」,松下希和 著,2011,エクスナレッジムック コンパクト建築設計資料集成,日本建築学会,2005,丸善		
関連科目	建築計画(S5),建築計画(AS1),土木・建築設計製図I~IV,応用CAD,CAD基礎,建設都市法規,建築施工		
履修上の注意事項	建築計画(AS1)を受講していること。		

授業計画(応用建築設計製図I)

	テーマ	内容(目標・準備など)
1	ガイダンス及び事例調査	課題説明を行う。また、建築系雑誌などで住宅設計の事例を調べレポートにまとめる。
2	敷地現地調査	設定敷地を見て、周りの環境などを調査する。
3	戸建て住宅のエスキス	エスキスを繰り返しながら、コンセプトを固めていく。
4	戸建て住宅の図面制作(1)	エスキスなどをしてラフで完成した図面をもとに、CADで具体的な図面の作成を行う。
5	戸建て住宅の図面制作(2)	引き続き、図面の作成を行う。
6	戸建て住宅の図面制作(3)	引き続き、図面の作成を行う。
7	戸建て住宅の図面制作(4)	引き続き、図面の作成を行う。
8	住宅模型の制作(1)	制作した図面をもとに、模型製作を行う。
9	住宅模型の制作(2)	引き続き、制作した図面をもとに、模型製作を行う。
10	住宅模型の制作(3)	引き続き、制作した図面をもとに、模型製作を行う。
11	住宅模型の制作(4)	住宅模型だけではなく、外周や外構や植栽なども模型で完成させる。
12	プレゼンテーションの技術(1)	制作した図面や模型写真を元に、提出図面の効果的なプレゼン、レイアウトの手法を学ぶ。
13	プレゼンテーションの技術(2)	作成した図面などをデザインソフトにて着色・加工などを行い、より伝えたいイメージを具体的にしていく。
14	プレゼンテーションの技術(3)	模型写真は様々な角度から撮影し、デザインコンセプトに沿うよう加工を施し、提出用紙にレイアウトを行う。
15	プレゼン発表と講評会	制作した図面をもとにプレゼンテーションを行い、そのデザインについて活発な討議を行う。
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
備考	<p>本科目の修得には、30時間の授業の受講と60時間の自己学習が必要である。 中間試験および定期試験は実施しない。提出図面および模型写真、プレゼンテーションにて評価する。</p>	